

平成27年度 新たな横浜市指定文化財

横浜市では、横浜市文化財保護審議会（会長 五味文彦）の答申・回答を受け、横浜市指定文化財として「木造日蓮聖人坐像」などの3件を、登録地域文化財として「木村坦乎先生の碑」などの2件を決定しました。

今回の指定・登録により、横浜市指定文化財は158件、登録地域文化財は95件となります。

★11月13日（金）の告示をもって正式に指定・登録されます★

	種別	名称	所在する区
①	指定	有形文化財 (彫刻) 木造日蓮聖人坐像 附 紙本墨書法華經および法華經書写目録 8巻	金沢区
②		有形文化財 (彫刻) 木造方外宏遠坐像	戸塚区
③		有形民俗文化財 街頭紙芝居 附 舞台・拍子木	都筑区
④	登録	地域有形文化財 (歴史資料) 木村坦乎先生の碑	西区
⑤		地域史跡 松ヶ崎横穴墓群	港南区



- ①：木造日蓮聖人坐像
- ②：木造方外宏遠坐像
- ③：街頭紙芝居
- ④：木村坦乎先生の碑
- ⑤：松ヶ崎横穴墓群

平成 27 年度 新指定文化財概要

☆指定文化財は文化財保護審議会で「国・県指定文化財以外の文化財のうち横浜の歴史、文化または自然を理解する上で重要なもの」と判断されたものです。

1 木造日蓮聖人坐像 附 紙本墨書法華經および法華經書写目録 8巻 1軀 (彫刻) 《室町時代》

所有者：宗教法人 上行寺 所在の場所：金沢区六浦2丁目2番12号 像高：50.4cm

日蓮宗祖師である日蓮の肖像。造形や堅牢な構造技法に室町時代の特色がうかがわれ、像内に納入されていた法華經および法華經書写目録に記された応永13年(1406)頃の製作とみられる。中世以前にさかのぼる日蓮像は全国的にみても稀少であり、貴重な資料である。

2 木造方外宏遠坐像 1軀 (彫刻) 《南北朝時代》

所有者：宗教法人 海藏院 所在の場所：戸塚区戸塚町4213 像高：65.4cm

海藏院の開山である方外宏遠(?-1363)の肖像として伝来した像。方外は夢窓疎石の高弟で、東国における夢窓一門の中心として活動した。過不足ない写実味と自然な量感をもつ作風は、方外の没年の貞治2年(1363)頃の特色がうかがえる。本像は南北朝時代にさかのぼる肖像彫刻として市内では稀少な作例であり、像主の活動の背景を知るうえでも貴重な資料である。

3 街頭紙芝居 附 舞台・拍子木 253巻(2,700点) (有形民俗) 《昭和20~30年代》

所有者：横浜市 所在の場所：都筑区中川中央1丁目18番1号(横浜市歴史博物館)

街頭紙芝居は、昭和初期に始まり、テレビが普及する昭和30年代まで盛んにおこなわれた、当時の子どもたちの娯楽の一つである。本資料は、街頭紙芝居の演じ手でもあった鷺塚隆氏から、横浜市歴史博物館へ上演用具と共に寄贈を受けたコレクションである。253巻(2700点)、計19タイトルにも及ぶコレクションであり、「少年スピード王」「赤外流星人」「大怪獣ダイラ」の3編は第1巻から最終巻まで全巻が揃い、散逸が著しい街頭紙芝居の中にあっては貴重な資料である。

平成 27 年度 新登録地域文化財概要

☆登録地域文化財は「地域の方々が大切に守ってきたもので、地域の歴史を知る上で必要な文化財」と判断されたものです。

1 木村坦乎先生の碑 1基 (歴史資料) 《大正14年》

所有者：横浜市 所在の場所：西区浅間町4丁目336(浅間車庫前公園)

木村坦乎は嘉永6年(1853)に仙台藩医の家に生まれ、明治43年より尋常帷子小学校に勤務。当時、貧困による未就学児が多かったことを憂い、大正3年に退職し、私立「隣徳尋常小学校」を設立した。関東大震災により校舎が倒壊して坦乎は圧死、大正14年に坦乎先生を偲んで碑が建てられた。明治・大正期に小学校教育がさまざまな人の大きな努力によって普及してきたことを示す記念碑として、後世に伝えるべき貴重な資料である。

2 松ヶ崎横穴墓群 (地域史跡) 《古墳時代》

所有者：神奈川県 所在の場所：港南区港南台9丁目18付近(県立横浜明朋高等学校内)

横穴墓とは、崖や台地の斜面に横穴を掘って作った墓であり、多くは群集して存在する。当横穴墓群は、県立横浜明朋高等学校の校地内西南部斜面にわずかに残る雑木林に位置する。1976年当時は上下二段に8穴が確認されているが、現在確認できるのは3穴のみ。このような横穴墓は、7世紀代までに作られたものと考えられ、造営した人々はこの地域の有力者層と考えられる。現在は地域を知る教材として高校での学習に生かされるとともに、文化祭でも説明展示等が行われている。

お問合せ先

教育委員会事務局生涯学習文化財課長 重松 馨 Tel 045-671-3236